

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 4 月 19 日現在

機関番号：32644

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2015

課題番号：24730338

研究課題名(和文) 国際経営戦略におけるデザイン思考の組み込み

研究課題名(英文) Incorporating Design Thinking into International Business Strategies

研究代表者

岩谷 昌樹 (IWATANI, Masaki)

東海大学・政治経済学部・教授

研究者番号：70366003

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：国内外での関連図書を収集・読解し、論点の整理を行うとともに、国内の関連施設を訪問し、知見を高めた。成果としては、まず海外でどのような視点で研究されているのかを確認するために『デザインドリブン・イノベーション』という英書を翻訳し、出版した。次に共同論文を毎年、執筆し、2012年～2014年の間に7本を大学の紀要に掲載した。こうした論文の定期的な公表を行うことで、ピアレビューを受けることができ、研究での欠如した部分を明確にすることができた。そうした不足点を補い、2014年9月に完成させたのが『デザイン・バイ・マネジメント』という共著である。最終年度の2015年には結論的な単著論文を1本公表できた。

研究成果の概要(英文)：I gathered related literature from Japan and other countries, read it for comprehension, and then clarified the main points. I also visited relevant facilities in Japan in order to expand my knowledge. For my research output, I translated an English-language book entitled Design-Driven Innovation and had it published. Thus, I was able to ascertain the approaches that foreign researchers apply to this topic. Furthermore, I wrote joint papers every year and had a total seven papers published in university journals between 2012 and 2014. Periodically publishing papers in this way subjected my research to peer review, which helped me to determine points that were lacking. September 2014 saw publication of my co-authored book, Design by Management, which compensated for those shortcomings. In 2015, my final year, I authored a conclusive paper that was duly published.

研究分野：国際経営戦略

キーワード：国際経営 デザインマネジメント 経営戦略 グローバルビジネス デザイン思考

1. 研究開始当初の背景

本研究に着手する以前での研究課題は「グローバル企業のデザインマネジメント」(若手研究 B、平成 19~22 年度)というものであった。この研究では、グローバルビジネスを推進する企業に固有な特徴を見つけ出すために、デザインに着目して論理を展開した。注目した点は、デザインマネジメントに必要な能力(デザインを資源化する能力、デザインを結合する能力、デザインを組織学習する能力、デザインで革新する能力、デザインを戦略に用いる能力、デザイン・ベースの優位性を守る能力の6つ)や、日欧米におけるデザイン主導型企業の特質、経験価値の提供を行う企業の実像、差異化要因としてのデザインマインドなどであった。

こうした研究に取り組み、『グローバル企業のデザインマネジメント』(学文社、2009年)という単著の公表などで成果も挙げた後に、未だ解決できない研究課題が残っていた。それは、同研究で捉えた事例のほとんどが日本以外の企業や商品・サービスであったことである。このことより、次なる研究には、日本企業を考察の中心に据えたいという方向性が芽生えていた。

実際、現在では、デザインを経営の中心に置き、製品開発を行う企業が世界市場で支持を受けている。その企業の多くは欧米企業であり、日本企業の名がそこに挙がるのはほとんどない。かつてデザイン性の高い商品と言えば、日本製が代表的であったが、21世紀に入り、日本以外の国でグッドデザインの事例が多く出ている。アジアに限って見ても、デザイン先進性の座は韓国企業に奪われているという現状である。こうした日本企業の衰退の理由は何であるのか? 再び日本企業が世界のデザイン・リーディング・カンパニーとなり得る可能性はどこに在るのか? といった点を探り出したいということが、研究を始めようとした動機である。また、それを明確に捉えるために据えたキーワードが「デザイン思考」である。

2. 研究の目的

(1)国際経営戦略を研究するフィールドにおいて、デザインが経営資源として検討されることがこれまでにほとんど無かった。したがって、本研究では、デザインを貴重で稀少な他社からの模倣が困難な経営資源として捉え、それを国際経営戦略で有効に活用することが、持続的競争優位をもたらすという点を提示することを狙いとしました。

(2)昨今、ビジネス世界でも注目される「デザイン思考」のコンセプトを完全に把握し、それを製品開発過程にいかに関与させることが出来るかを検討するために、本研究に取り組んだ。

(3)一般に、デザイナーとマネジャーは社内

において相互理解が最も難しい存在となっている。

マネジャータイプは「火星(Martian)」と呼ばれる左脳型であり、定量的調査を好み、数字を重視する。その一方でデザイナータイプは「金星(Venusian)」と呼ばれる右脳型であり、定性的調査を好み、感性を重視する。このように互いに相容れない性質を持つのであるが、そうした彼らがタッグを組み、コンビネーションを発揮すると、グッドデザインの商品やサービスが生まれてくる。すでに、このような事例は始めているので、それらのケースを考察することで、「デザイナー×マネジャー」の「両脳型」タイプの企業の特徴を見出すことを目指した。

3. 研究の方法

(1)国内外の関連文献を網羅的に集め、それらの論点を整理しながら、論理展開を強固なものとし、それを説明できうる事例を国内の関連施設を回り、収集し、適合性を確かめつつ、整合性を図っていく。

(2)海外での研究視点を学ぶために、洋書を1冊翻訳するとともに、それを出版することで、日本にその見解を広く紹介する。

(3)自身が経営学者であるので、デザイン学を背景に持つ研究者と協力して研究活動を行うことで、「デザイン思考」について多面的に捉えていく。

4. 研究成果

(1)同世代の研究者2名と合計7本の共著論文を公表できた。とりわけ国内では未だ取り上げられていないコンセプトをいち早く取り入れ、検討を行っている点は、今後の研究発展に寄与するものである。

(2)主要な成果として、2014年9月に『デザイン・バイ・マネジメント』という共著を出版した。本著は、日本でのデザインマネジメント研究の進展につながるのと同時に、経営学部及びデザイン学部における学生への教育活動にも活用できうる内容となっている。

(3)最終年度となる2015年度に「デザイン思考」についての総括的な単著論文を公表した。この論文は、自身の次段階の研究テーマの礎となるものでもある。

(4)『デザイン・ドリブン・イノベーション』という洋書を翻訳し、出版した。これにより、研究者ネットワークの幅が広がるとともに、日本の関連研究者に「デザイン・ドリブン・イノベーション」の概念や論旨を伝えることが出来た。

(5)本研究の視点を補足すべく、多国籍企業がどのようにこれまで捉えられてきたのか、

また、そうした多国籍企業を経営する者に宿るリーダーシップとはどのようなものなのかについて分析し、その結果は2本の単著論文として公表した。

(6)現代企業がビジネスを展開する上で関連してくるコンセプトの中でも「サードプレイス」と「ディズニー化」について検討し、その結果は2本の単著論文として公表した。

(7)デザインマネジメントならびにデザイン思考に関連性の高い研究領域に「クリエイティビティ・マネジメント」があり、それについての予備的考察を行った。その成果は1本の単著論文として公表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計13件)

岩谷昌樹、デザイン思考家の時代、東海大学紀要 政治経済学部、査読無、第47号、2015、pp.111 - 128.

岩谷昌樹、現代消費社会のディズニー化、東海大学紀要 政治経済学部、査読無、第46号、2014、pp.63 - 82.

佐伯靖雄、岩谷昌樹、デザイン・ドリブン戦略による企業成長 愛知県企業・機関を事例として、名古屋学院大学論集社会科学篇、査読無、第51巻第1号、2014、pp.153 - 163.

佐藤典司、八重樫文、岩谷昌樹、地域ブランド創造におけるデザインマネジメントに関する考察、立命館経営学、査読無、第53巻第1号、2014、pp.1 - 20.

八重樫文、岩谷昌樹、デザインによるブランディングに関する考察、立命館経営学、査読無、第53巻第1号、2014、pp.53 - 74.

岩谷昌樹、現代消費社会のサードプレイス、東海大学紀要 政治経済学部、査読無、第45号、2013、pp.127 - 147.

岩谷昌樹、多国籍企業への多様なアプローチ、埼玉学園大学紀要 経済経営学部篇、査読無、第13号、2013、pp.61 - 73.

八重樫文、岩谷昌樹、コラボレーション経済におけるデザインとブランドの関係性、立命館経営学、査読無、第52巻第2・3号、2013、pp.359 - 383.

八重樫文、岩谷昌樹、ファンタジー経済とデザインのWowファクターに関する考察、立命館経営学、査読無、第52巻第1号、2013、pp.27 - 51.

岩谷昌樹、スタジオジブリのクリエイティビティ・マネジメント、東海大学紀要政治経済学部、査読無、第44号、2012、pp.179 - 198.

岩谷昌樹、国際的企業家の肖像、埼玉学園大学紀要 経営学部篇、査読無、第12

号、2012、pp.73 - 84.

八重樫文、岩谷昌樹、イノベーションとデザインマネジメントとの関連性についての考察、立命館経営学、査読無、第51巻第2・3号、2012、pp.47 - 66.

八重樫文、岩谷昌樹、グッドデザインによるビジネスモデルの構築に関する考察、立命館経営学、査読無、第51巻第1号、2012、pp.59 - 82.

[学会発表](計0件)

[図書](計2件)

八重樫文、岩谷昌樹、青山社、デザイン・バイ・マネジメント、2014、250.

ロベルト・ベルガンティ著、佐藤典司監訳、岩谷昌樹訳、八重樫文訳、同文館、デザイン・ドリブン・イノベーション、2012、345.

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

岩谷 昌樹 (IWATANI, Masaki)
東海大学・政治経済学部・教授
研究者番号：70366003

(2)研究分担者

無し

()

研究者番号：

(3)連携研究者

無し

()

研究者番号：

(4)研究協力者

八重樫 文 (YAEGASHI, Kazaru)

佐伯 靖雄 (SAEKI, Yasuo)